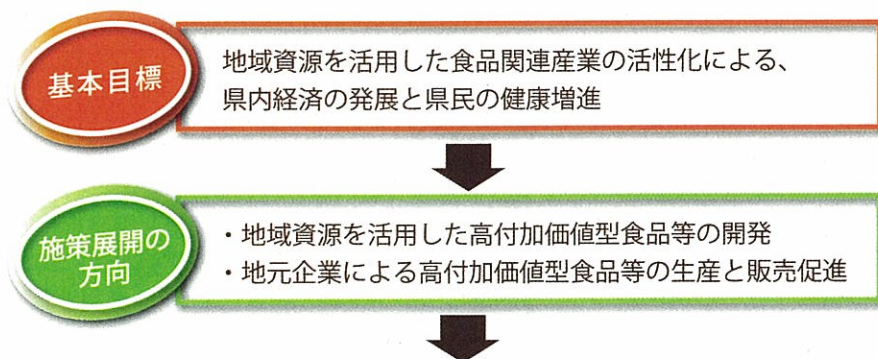


静岡県では、恵まれた「地域資源」を背景として、食品関連企業が集積する県中部地域を中心に、産学官連携による機能性食品の開発を促進し、食品関連産業の振興と集積を目指す「フーズ・サイエンスヒルズプロジェクト」を推進しています。

●● フーズ・サイエンスヒルズプロジェクト戦略計画 ●●

平成22年3月「フーズ・サイエンスヒルズプロジェクト戦略計画(平成22～26年度)」を策定しました。

「基本目標」を達成するため、2つの「施策の展開方向」と4つの戦略を掲げています。



- ◆ **戦略1** 地場産品を活用した研究開発の促進
- ◆ **戦略2** 新産業の創出と地域経済の活性化 - 事業化の促進 -
- ◆ **戦略3** 食品関連産業を担う人材の育成
- ◆ **戦略4** 食による地域づくり - 広報・啓発 -

● 達成目標 ●

平成26年度における達成目標を定めています。

◆ 産学官連携による食品関連の研究件数	200件
◆ 製品化件数※	50件
◆ プロジェクト参画企業数	300社
◆ 販売促進支援件数	50件
◆ 「食料品」と「飲料・たばこ・飼料」の合計製造品出荷額等の全国順位	1位

※製品化件数とは、市販された製品件数のこと

● プロジェクトのあゆみ ●

平成14年9月	文部科学省 都市エリア産学官連携促進事業(一般型)
平成17年4月	文部科学省 都市エリア産学官連携促進事業(発展型)
平成21年1月	(独) 科学技術振興機構 地域結集型研究開発プログラム 『静岡発 世界を結ぶ新世代茶飲料と素材の開発』
平成21年4月	フーズ・サイエンスセンター開設
平成22年3月	フーズ・サイエンスヒルズプロジェクト戦略計画(平成22～26年度)策定

「薬」「食」の融合により新たな機能性食品を創出します

フーズ・サイエンスヒルズ
FOODSCIENCEHILLS
食品関連産業集積プロジェクト

次世代の医療・産業を支える光・電子技術を活用します

フォトンバレー
PHOTONVALLEY

光・電子技術関連産業集積プロジェクト

世界の寿命は静岡県が延ばします

ファルマバレー
PHARMAVALLEY

富士山麓先端健康産業集積プロジェクト

静岡県では、県内の地域資源や産業基盤の特性を生かして、東部地域を中心とした「ファルマバレー」、中部地域を中心とした「フーズ・サイエンスヒルズ」、西部地域を中心とした「フォトンバレー」という3つの産業集積プロジェクトを進めています。これらを総称して「静岡新産業集積クラスター」と呼び、次世代産業の集積と創出を図っています。

静岡新産業
集積クラスター